

# スーパーマーケット景気動向調査

2017年11月調査結果（10月実績）  
（2017年11月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

## 【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」  
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」  
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

---

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

## 【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

---

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会  
オール日本スーパーマーケット協会  
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

# 11月調査（10月実績）結果概況

## 景気判断DIは現状判断、見通し判断共に悪化

11月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI現状判断は前月から-3.9の41.0、見通し判断も前月から-2.3の39.6となり、どちらも大幅な悪化となった。

経営動向調査では、売上高DIが-17.4、収益DIは-13.4と2桁のマイナスまで低下した。週末に台風が接近するなど天候不順に加え、土曜日が一日少ない曜日巡りの影響で、来客数DIが-18.7と大きく低下したことが影響している。

カテゴリー動向調査では、前年高騰した青果相場の反動により青果DIが-31.5とマイナス幅が大きく、サンマや秋鮭不漁の影響を受けた水産DIや秋の行楽需要に影響があった惣菜DI、他業態との競合が厳しい非食品DIが2桁のマイナスとなった。一方で、気温低下による鍋物需要の高まりや水産カテゴリーからの需要シフトで畜産DIが11.9と好調となった。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査ではすべてのDIが前月に比べ悪化した。特に他のDIに比べ、中核店舗の景気判断DIの悪化が顕著であり、見通し判断では2016年9月以来となる30台を記録するなど、スーパーマーケットを取り巻く環境には厳しい見方が続いている。（周辺地域景気動向DI長期傾向参照）

今月は曜日巡り、週末を中心に悪天候による来客数減、生鮮相場などスーパーマーケットにとって厳しい環境が重なった。そのため、足元で継続してきたゆるやかな回復基調の変化ではなく、一過性のものとみられる。マクロ指標でも消費の底堅さがみられており、次月以降の動向に注目したい。

### 景況感調査

#### 現状判断

<b>景気判断DI</b> 当月：41.0 (-3.9) 前月：44.9	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：43.6 (-1.9) 前月：45.4	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：40.1 (-1.0) 前月：41.1	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：45.7 (-1.5) 前月：47.2
--	---	---	---

#### 見通し判断

<b>景気判断DI</b> 当月：39.6 (-2.3) 前月：41.8	<b>消費者購買意欲DI</b> 当月：43.1 (-1.0) 前月：44.1	<b>周辺地域 競合状況DI</b> 当月：38.3 (±0.0) 前月：38.3	<b>店舗周辺地域 景気判断DI</b> 当月：45.7 (-1.7) 前月：47.3
--	---	---	---

### 経営動向調査 経営状況

<b>売上高DI</b> 当月：-17.4 (-10.5) 前月：-6.9	<b>客単価DI</b> 当月：3.5 (+2.6) 前月：0.9	<b>来客数DI</b> 当月：-18.7 (-7.9) 前月：-10.8	
<b>収益DI</b> 当月：-13.4 (-5.0) 前月：-8.4	<b>販売価格DI</b> 当月：-3.9 (-5.1) 前月：1.2	<b>生鮮品仕入原価DI</b> 当月：0.0 (-5.1) 前月：5.1	<b>食品仕入原価DI</b> 当月：1.2 (-1.9) 前月：3.1

### カテゴリー動向

<b>青果DI</b> 当月：-31.5 (-18.6) 前月：-12.9	<b>水産DI</b> 当月：-18.4 (+1.2) 前月：-19.5	<b>畜産DI</b> 当月：11.9 (+4.2) 前月：7.7	
<b>惣菜DI</b> 当月：-10.2 (-5.0) 前月：-5.1	<b>日配DI</b> 当月：-7.6 (-2.7) 前月：-4.9	<b>一般食品DI</b> 当月：-5.6 (-3.5) 前月：-2.1	<b>非食品DI</b> 当月：-11.3 (-2.1) 前月：-9.1

○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

# 11月調査（10月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

## 1. 売上高DI

当月大きく下落するなどマイナス圏での推移が続く

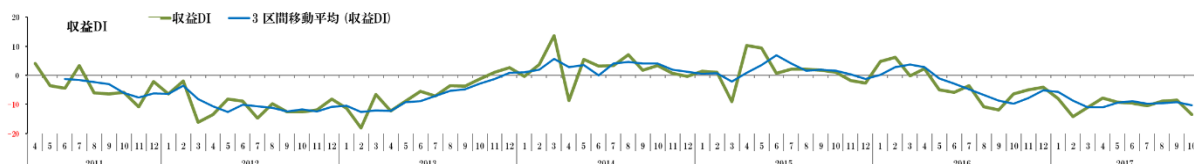
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	9.7	34.2	31.1	24.0	1.0	-6.9
売上高（当月）	<b>19.5</b>	<b>42.5</b>	<b>27.0</b>	<b>9.8</b>	<b>1.1</b>	<b>-17.4</b>



## 2. 収益DI

当月大きく下落するなどマイナス圏での推移が続く

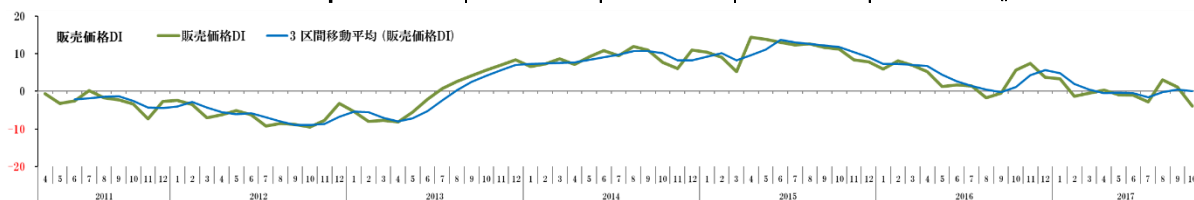
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	11.4	35.8	30.6	19.7	2.6	-8.4
収益（当月）	<b>16.3</b>	<b>37.2</b>	<b>32.0</b>	<b>12.8</b>	<b>1.7</b>	<b>-13.4</b>



## 3. 販売価格DI

再びマイナス圏に落ち込むなど頭の重い推移が続く

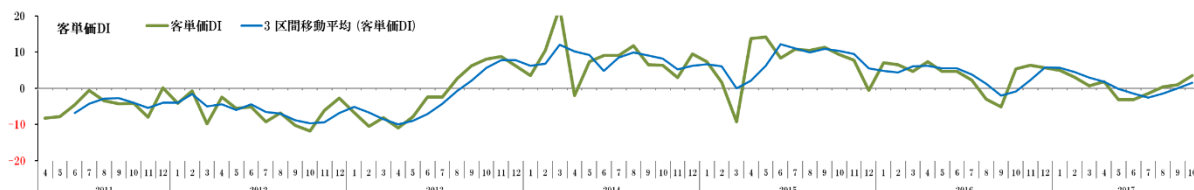
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.0	12.8	69.7	17.4	0.0	1.2
販売価格（当月）	<b>1.7</b>	<b>25.4</b>	<b>60.1</b>	<b>12.1</b>	<b>0.6</b>	<b>-3.9</b>



## 4. 客単価DI

プラス圏維持し底堅い動きが続く

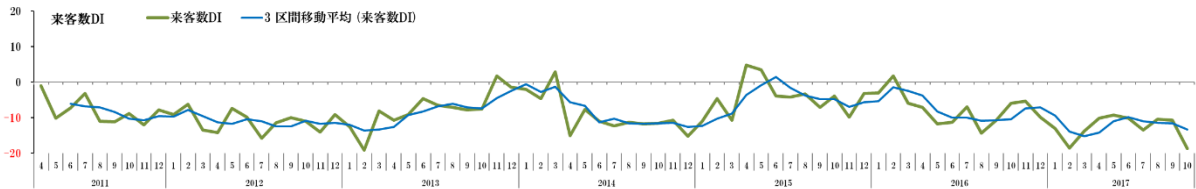
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	1.6	20.2	51.3	26.9	0.0	0.9
客単価（当月）	<b>1.2</b>	<b>18.0</b>	<b>47.7</b>	<b>32.0</b>	<b>1.2</b>	<b>3.5</b>



## 5. 来客数 DI

当月大きく下落するなど弱含みな推移が続く

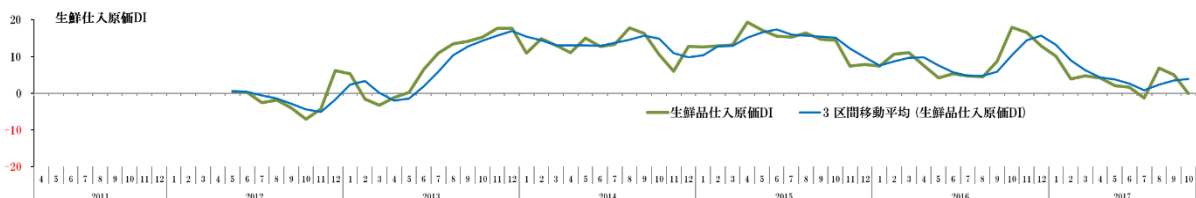
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	9.7	40.0	34.9	14.4	1.0	-10.8
来客数 (当月)	<b>15.8</b>	<b>50.9</b>	<b>26.9</b>	<b>5.3</b>	<b>1.2</b>	<b>-18.7</b>



## 6. 生鮮仕入原価 DI

2 か月連続でプラス圏後、再び低下

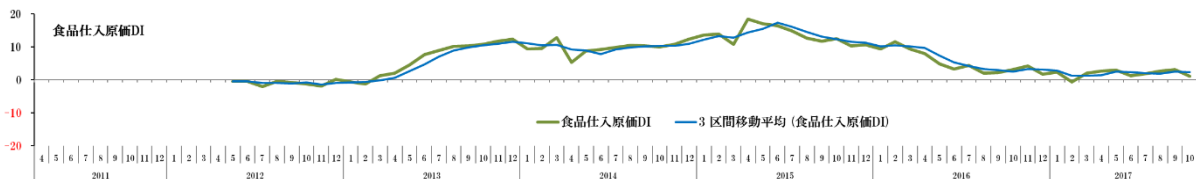
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	3.1	10.4	52.3	31.6	2.6	5.1
生鮮仕入原価 (当月)	<b>9.4</b>	<b>15.2</b>	<b>44.4</b>	<b>28.1</b>	<b>2.9</b>	<b>0.0</b>



## 7. 食品仕入原価 DI

わずかなプラス域で横ばいでの推移が続く

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	3.1	8.2	63.4	23.7	1.5	3.1
食品仕入原価 (当月)	<b>3.5</b>	<b>9.3</b>	<b>68.6</b>	<b>16.3</b>	<b>2.3</b>	<b>1.2</b>

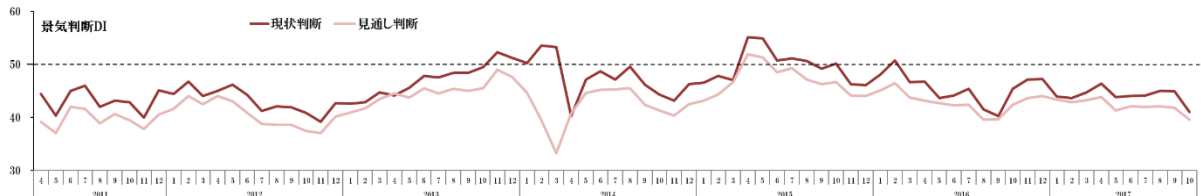


## II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景況判断のみ2010年4月～)

### 1. 中核店舗景況判断 DI

現状判断、見通し判断共に大きく悪化

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	1.5	26.4	64.0	7.1	1.0	44.9
【現状】景況判断 (当月)	2.3	36.0	57.1	4.6	0.0	41.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	2.6	32.7	59.7	5.1	0.0	41.8
【見通し】景況判断 (当月)	2.9	39.4	54.3	3.4	0.0	39.6



### 2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に悪化

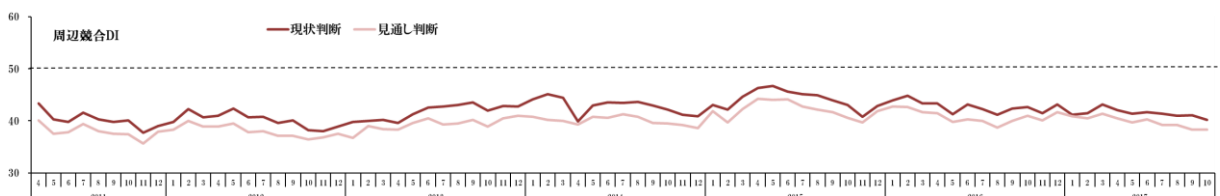
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.0	25.4	68.5	5.1	1.0	45.4
【現状】購買意欲 (当月)	0.6	31.4	61.7	5.7	0.6	43.6
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.0	26.0	71.4	2.6	0.0	44.1
【見通し】購買意欲 (当月)	0.0	33.1	61.1	5.7	0.0	43.1



### 3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状判断、見通し判断とも大きな変化はみられず

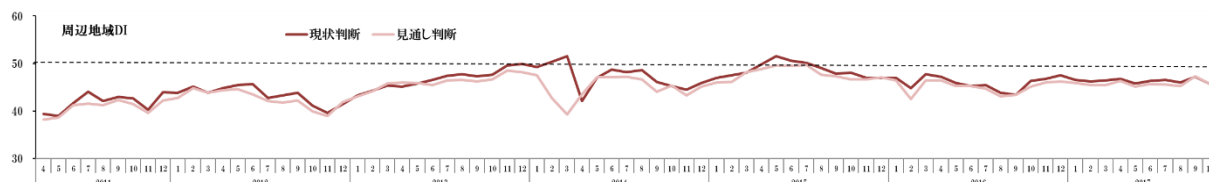
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	4.6	30.5	60.9	4.1	0.0	41.1
【現状】競合状況 (当月)	4.0	33.1	61.1	1.7	0.0	40.1
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	7.1	34.0	57.4	1.5	0.0	38.3
【見通し】競合状況 (当月)	6.3	35.4	57.1	1.1	0.0	38.8



#### 4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

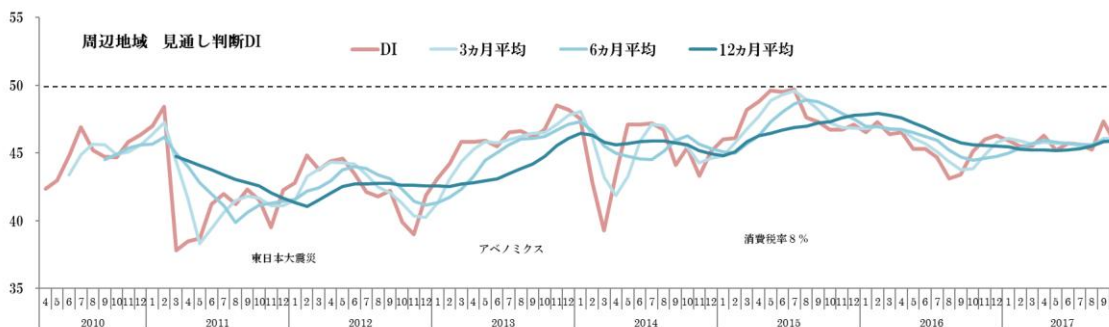
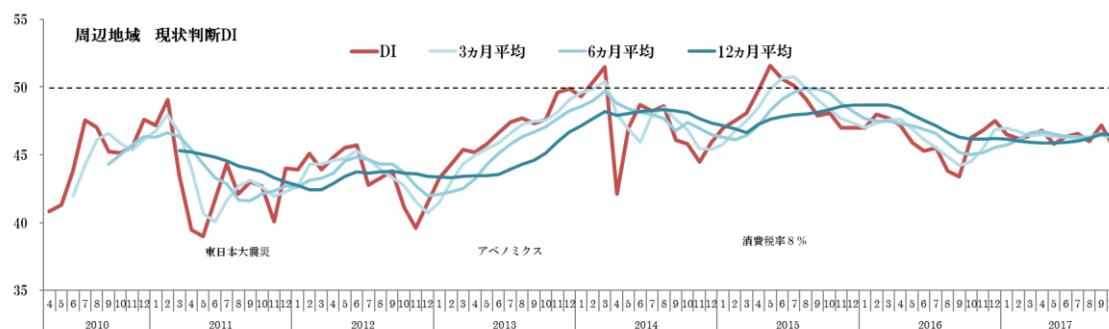
現状・見通し判断共に悪化も他のDIに比べ高水準は維持

回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	13.3	84.7	2.0	0.0	47.2
【現状】地域景気(当月)	0.6	17.9	79.8	1.7	0.0	45.7
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.0	13.8	83.2	3.1	0.0	47.3
【見通し】地域景気(当月)	0.6	19.1	77.5	2.9	0.0	45.7



#### 長期傾向 (2010年4月～)

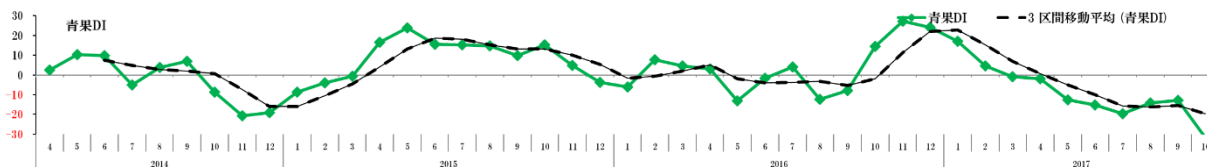
2012年11月以降改善傾向を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け大きく下落した。5月に一旦持ち直したものの、6月～8月まで横ばい推移、9月に再び悪化した。その後、年末から6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで改善をみせた。これをピークに6月以降悪化傾向が続き11月は下落の速度が早まった。12月～2月は横ばいで推移したものの、2016年3月以降悪化をみせ、8月には大きく下落した。直近9月に下げ止まりをみせ、12月まで小幅な改善が続いた。2017年に入り、直近は12ヵ月移動線付近で下げ止り、横ばい推移が継続していたが9月に上昇、10月に大きく下落し、方向感のない動きとなっている。



### Ⅲ. カテゴリー別動向

#### 1. 青果DI：-31.5（かなり不調）

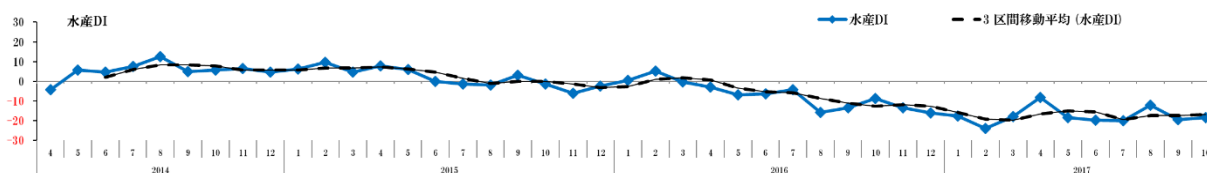
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	13.3	43.6	25.5	16.5	1.1	-12.9
<b>青果（当月）</b>	<b>47.3</b>	<b>38.2</b>	<b>9.1</b>	<b>4.2</b>	<b>1.2</b>	<b>-31.5</b>



前年に相場が高騰した翌年にあたり、サラダ関連を中心に前年に比べ大幅な相場安となり、単価が大きく下落したため、全体としてはかなり不振となった。気温の低下により鍋物需要が高まり、長ネギや菌茸類が好調となった。国産果物では、梨が好調は好調だが、みかんやリンゴは不調となった。

#### 2. 水産DI：-18.4（不調）

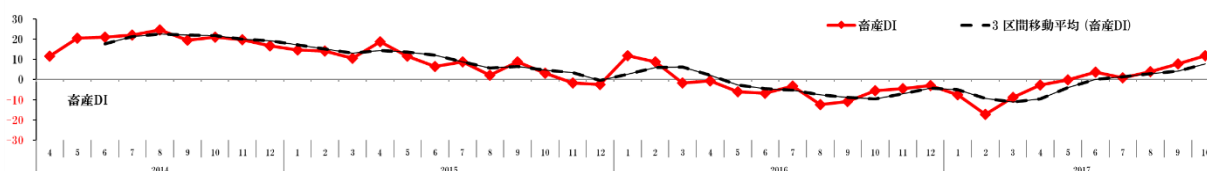
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	20.7	45.7	25.0	8.0	0.5	-19.5
<b>水産（当月）</b>	<b>20.5</b>	<b>46.4</b>	<b>21.1</b>	<b>10.2</b>	<b>1.8</b>	<b>-18.4</b>



前月同様に旬であるサンマや秋鮭が極端な不漁で入荷が少なく、価格が高騰しているため不調となった。比較的入荷が安定しているぶりやイワシは好調だったほか、気温の低下により鍋もの食材の動きがよく、冷凍の蟹やタラなどが好調であった。刺身類は引き続きアニサキス報道の影響が続いているとの指摘が多い。

#### 3. 畜産DI：11.9（好調）

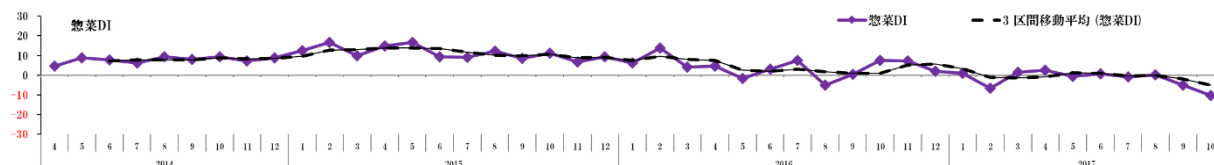
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	4.3	16.5	32.4	37.8	9.0	7.7
<b>畜産（当月）</b>	<b>2.4</b>	<b>15.1</b>	<b>26.5</b>	<b>44.6</b>	<b>11.4</b>	<b>11.9</b>



全般的に相場が高値で推移するなか、水産カテゴリーからの需要シフトも追い風となり好調となった。気温低下により鍋物やしゃぶしゃぶなどホットメニュー用食材が好調であり、鶏肉・豚肉は好調とするコメントが多い。牛肉は好不調が分かれているが、国産牛や高単価商品の動きがよいとの判断もみられた。

#### 4. 惣菜DI：-10.2（不調）

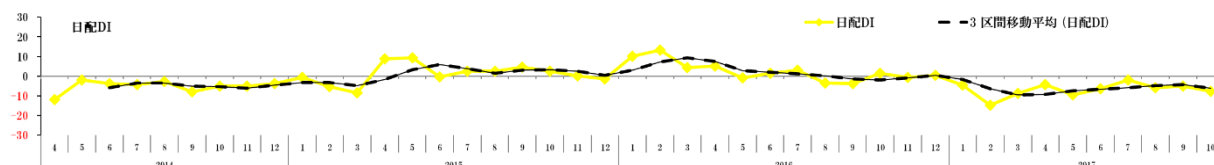
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	7.5	33.9	33.9	21.0	3.8	-5.1
<b>惣菜（当月）</b>	<b>10.8</b>	<b>38.0</b>	<b>34.3</b>	<b>15.1</b>	<b>1.8</b>	<b>-10.2</b>



気温の低下により、揚げ物やホットメニューなどに動きはみられるが、週末の天候不順で運動会の延期や中止が相次いだほか、秋の行楽需要に影響を受け不調となった。また土曜日が一日少ない曜日巡りによる影響も大きかった。引き続き O157 報道によるポテトサラダなどのサラダ類への影響を指摘するコメントが多い。気温の低下やアサニキス報道による影響を受け寿司関連は不調となった。一方で米飯類は秋の味覚を活用したメニューが好調だった。ハロウィン関連メニューの取り組みも成果をあげているが、当日の天候によりロスが発生した店舗もみられた。

#### 5. 日配DI：-7.6（やや不調）

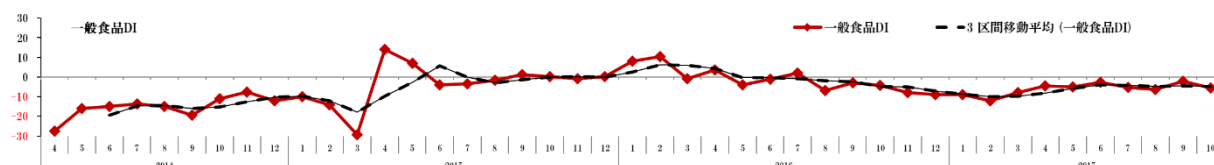
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	6.9	27.7	45.7	17.6	2.1	-4.9
<b>日配（当月）</b>	<b>9.1</b>	<b>31.5</b>	<b>41.2</b>	<b>17.0</b>	<b>1.2</b>	<b>-7.6</b>



気温の低下により、おでんや鍋用の練製品は動きがよかったが、前年との気温差でアイス類や乳製品やデザート類などの洋日配は不調とするコメントが多い。前年青果相場高騰の際、好調であった漬物や冷凍野菜などは反動減がみられている。ヨーグルトは好不調がわかれている。他業態との競合の厳しさを指摘するコメントもみられた。

#### 6. 一般食品：-5.6（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	6.4	25.7	39.6	26.7	1.6	-2.1
<b>一般食品（当月）</b>	<b>7.9</b>	<b>29.1</b>	<b>43.0</b>	<b>17.6</b>	<b>2.4</b>	<b>-5.6</b>

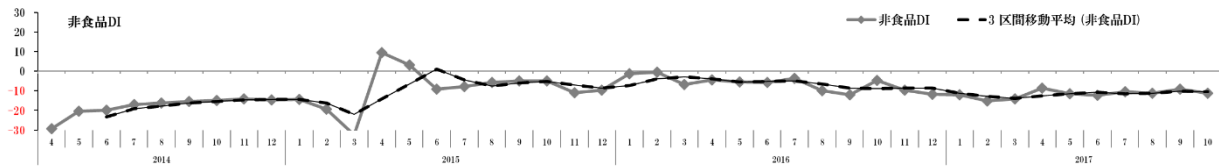


気温の低下により、スープ類やカレー、鍋つゆ、麺類などの秋冬物商材の動きがよかった、一方で飲料やビールなどは不調となった。米類は新米の価格がやや上昇しているなか、ブランド米を訴求して好調となっている店舗が多い。ハロウィンに関連した菓子類は好調に推移し、特に大袋菓子の動きがよかった。



## 7. 非食品DI：-11.3（不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	9.9	34.8	40.9	10.5	3.9	-9.1
非食品（当月）	16.3	33.1	35.0	10.6	5.0	-11.3



気温の低下によりカイロや入浴剤など動きがよくなっているが、紙製品の不振やタバコの低迷に加え、ホームセンターやドラッグストアなどとの価格競争の影響が大きく受けているとのコメントが多い。

### カテゴリ別DIによる好不調判断

かなり好調：～20      好調：20～10      やや好調：10～0  
 やや不調：0～-10      不調：-10～-20      かなり不調：-20～

### 2017年11月調査（10月実績）キーワードTOP3

1. 来客数減（週末台風・降雨日多い、土曜日が一日少ない）
2. 前年より低い気温
3. 青果相場安

### スーパーマーケット景気動向調査 集計数

10月実績速報版 193社  
 9月実績確報版 175社

### スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 [tokei@super.or.jp](mailto:tokei@super.or.jp)